

ORDERING INFORMATION

製品コード	製品名
VLFT10GEN	Valleylab™ FT10 エネルギープラットフォーム
JC2016	FT10 JCカート
SE3690	RapidVac™ スモークエヴァキュエーター



†14 out of 14 surgeons surveyed agreed.

1. Based on internal report #RE00075766 rev B, Marketing evaluation of the Valleylab™ FT10 energy platform, saved setting feature: nurses' report. February 2019. 2. Valleylab™ FT10 Energy Platform, Software Version 4.0x [user guide]. Boulder, CO: Medtronic; 2019.
2. Based on internal report #RE000190486
3. Based on internal report #RE00036435 rev A, Product validation for Valleylab™ FT10 energy platform 4.0 bipolar resection. February 2019.

※使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の添付文書をご参照ください。

Medtronic

コヴィディエンジャパン株式会社

Tel: 0120-998-971

medtronic.co.jp

販売名: Valleylab FT10エネルギープラットフォーム
医療機器承認番号: 22800BZX00157000
クラス: III

©2021 Medtronic. Medtronic、メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。
その他すべての商標は、Medtronic companyの商標です。

ct-en-eg-ft1040(01)
2102.pdf.cry.SI-A105

理想の手術を追求する、この1台 変化し続ける FT10



Valleylab™ FT10

エネルギープラットフォーム
ソフトウェアバージョン 4.0X

Medtronic

VALLEYLAB™ FT10 エネルギープラットフォーム ソフトウェアバージョン4.0X



メモリ機能の追加

ユーザーが設定可能なよく使う設定（お気に入り）を保存することができ、設定時間の短縮を目指します。



バイポーラモードの変更

より幅広い設定が可能になりました。繊細な止血に適したプリサイズはより細かい設定が可能です。



バイポーラリセクションの変更

切開開始までの時間を短縮し、バイポーラリセクション切除時間の短縮を目指します。

50年以上の歴史をもつ Valleylab™ は、幅広いエネルギーデバイスのラインナップを有し、価値ある製品・サービスをお届けすることで医療現場に貢献いたします。

Valleylab FT10 エネルギープラットフォームは、医師、看護師、臨床工学技士のご意見をもとに、常に進化を目指します。

ユーザーフレンドリーなソフトウェアバージョン 4.0X にアップグレードしていただくことで、より多彩な選択肢をお届けいたします。

メモリ機能

メモリ機能は手術室のチーム全体の効率化を目指してデザインされました。ソフトウェアバージョン 4.0X では、ユーザーが設定可能なよく使う設定（お気に入り）と、最近使用した設定（最近使った項目）を簡単に呼び出すことができます。（最大 60 の設定をお気に入り登録可能）

■セットアップ時間の短縮¹

■最近使った項目への素早いアクセス¹



バイポーラモード

より幅広いモード選択を可能にするためにバイポーラを変更いたしました。プリサイズの低出力では 0.5W 刻みの詳細な設定が可能です。（10W まで）

3つのバイポーラモード

- プリサイズモードは、乾燥の範囲を高い精度で制御し、その度合いを微細に調整する必要がある場合などに使用します。スパークを防ぐため、電圧は低く維持されます。組織抵抗が特定の範囲であれば、安定した出力を得ることができます。
- スタンダードモードは、ほとんどのバイポーラ手術で使用できます。スパークを防ぐため、電圧は低く維持されます。組織抵抗が特定の範囲であれば、安定した出力を得ることができます。
- マクロモードは、バイポーラで切開や素早い凝固を行う場合などに使用します。他のバイポーラモードよりも電圧が高く、より高い出力が供給されます。



※デュアルバイポーラを使用した際の画面

バイポーラモード

モード設定	出力設定範囲	最適なハンドピース
プリサイズ	0.5-70W	表面積の小さいハンドピース マイクロチップフォーセプス (0.4~2.2 mm)
スタンダード	1-70W	表面積が中程度のハンドピース マイクロチップフォーセプス (1.0~2.2 mm) 小型パドルラップフォーセプス バイポーラシザーズ
マクロ	1-70W	表面積の大きいハンドピース 大型パドルラップフォーセプス

バイポーラリセクション

Valleylab FT10 のバイポーラリセクション機能は、カールストルツ社、リチャードウルフ社のバイポーラリセクトスコープに対応しています。（専用コードを使用）ソフトウェアバージョン 4.0X のバイポーラリセクションでは切開機能の向上を目指してデザインされました。

- 切開効果開始にかかる時間 (Cut Initiation) を短縮^{2,3,†}
- バイポーラリセクション切除時間の短縮を期待^{2,3,†}



バイポーラリセクション仕様

	定格負荷 (Ω)	定格出力電力 (W)	最大ピーク電圧 (V)*	最大公称電流 (A)	標準クレスト ファクタ**	デューティ サイクル
CUT	200	300	849	4.5	1.45	100%
COAG	100	175	318	3.2	1.6	100%

※ . IEC 60601-2-2:2009 の 201.7.9.2.2.101 (c) (2) 節に基づき、ピーク電圧が 1600V を超える場合はいつでも、算出された変数 y が実際のクレストファクタ以上になることはありません。定格負荷時のピーク電圧は、以下の式を用いて算出できます。
V_{peak} = 標準クレストファクタ√電力× 定格負荷
** . 定格負荷の場合。